

# 三法親寺新聞

2012年 春彼岸号

日常誰もが経験する「心が落ち込んだ状態」は、ひどくなると「うつ病」と判断されます。その「心が落ち込んだ状態」というのは、この世に必ず存在し、生きている以上努力してもなくせません。

平安時代から「暗愁」という言葉があります。春に咲く桜も、二度と同じ桜は見られないのと同じで、いつかはなくなるものだからこそ大七刀にできるし、愛が生まれ、愛おしいと感じるのです。現代は、マイナス志向は心と体に良くないもので、喜ぶことだけが良いことと思われていますが、「喜怒哀楽」といわれるように「哀しみ」も生きていく上で重要な意味を持つ感情なのです。マイナス志向を治す必要はありません。むしろそれを受け入れ、共に生きるという決意をすることで「生きる力」が与えられるのではないのでしょうか。無理をせず、自分のペースで進んでいきたいですね。

## 750回忌法要について

2011年11月11日、宗祖750回大遠忌法要に87名、バス2台で参加いたしました。ありがたいご縁でした。また2012年1月16日は、御正當(本当の命日)でした。本原真寺では、大遠忌法要が行われました。三法親寺でも、1月14日、法要をお勤めさせていただきました。



三法親寺での法要で初の試み、DVDを鑑賞しました。こんな機会を増やすため、プロジェクター導入です。

## 住職の法話

先日、道を歩いていたらミニスカートの女性(今どきの若いヤル?)から、  
「なんにちは」と挨拶されました。門徒のお宅のお嬢さんかなあと思いましたが、違いました。すいません。先日はズボンに腰の下まで下げた男性(今どきのヤル男?)が法衣姿の私に「御苦勞さま」と挨拶してくれました。世の中年族(ほど?)でしめ?お年寄り(は?)「今時の若いもんは...」と言ったのは一昔前の話のようです。コンビニでもファミリーレストランでも洋服屋さんでも、若いの方が礼儀がよいのです。世の中年族、お年寄りの皆さま、仏さまへのご挨拶(お念仏)はできていますか。毎日お念仏申させていただきます。合掌



## Q&Aのコーナー

このコーナーは、ある門徒さんからの質問に住職が答えます!!!

**Q**... お寺に差し出す金封の表書きは、なんと書くのでしょうか??  
(質問)

**A**... すべてに「お布施」とお書き下さい。  
(答)

※ 布施というのは、仏教の大七刀なり行のひとつで「ほどこす」という言葉です。僧侶への御礼ではなく、阿彌陀如来のお救いを慶び感謝する報謝なのです。



こんにちは。釋紗音です。「さおん」って読みます。住職の娘です。皆様にお寺を身近に感じていただきたくて、今回より私の手書き新聞にしてみました。退屈にならない様に次回からも良い小情報をお伝えしていきたいと思います。頑張りまーす!! 宜しくお願いします♡♡

## お知らせ

4月28日(土)

春季永代系三法座

・講師 師・川端正道師

午後1時~おつとめ 午後1時半~三法話  
午後3時半~ 終了いたします。

是非お参り下さい!!